

除草剤適正使用キャンペーンについて

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

当協会では、水稲用除草剤の効果の安定と水田外への流出防止のため、散布前後の水管理の徹底を啓発する活動を行っています。

一般に、水稲用除草剤は、散布後有効成分が水中に溶け出し、水田水を介して水田土壌の表層に拡がって除草効果を発揮します。このため、散布後に水を止め、水田外への成分の流出を防ぐことは、除草効果を安定させると

もに環境への影響を小さくすることになり、特に散布後7日間落水、かけ流しをしないことが重要です。

この点について注意を促す内容のキャンペーン広告を、会員会社の協力を得て、水稲除草剤の散布時期に新聞に掲載するとともに、当協会ホームページでも紹介しています。こうした適正使用キャンペーンは、平成15年(2003年)から毎年継続して実施し、

現在に至っています。

キャンペーン広告では、かけ流しをさせないための水管理法として、当協会が推奨している「除草剤散布後水田水がなくなるまで給水しない止水管理」を平成24年(2012年)より紹介しています。これらの水管理法の詳細については、当協会ホームページ(<https://www.japr.or.jp/tekisei/>)をご覧ください。

2025年度 水稲除草剤適正使用キャンペーン

水稲用除草剤 《散布後7日間》は田んぼの水※を外に出さない

※「水田水」、「田んぼの水」は稲の栽培期間中に水田に湛る田面水のこと。

薬剤成分の流出を防止し、安定した除草効果が得られます。

このキャンペーンに協力・推進しています。

アピロクロウMX 1キロ粒剤・ジャンボ・エアード剤	ゼアス 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ/顆粒/エアード剤
イザナギ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボSD 200SD粒剤	セイテン 1キロ粒剤 ジャンボ
イネリーグ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	ゼー9ジャガー 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ
ムササビ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	ゼー9プラス 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・200FG
カウンシル エナジー 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	ゼアF MX 1キロ粒剤・ジャンボ
カウントダウン 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	ダイナミョット フロアブル ジャンボSD 200SD粒剤
カラット 1キロ粒剤 フロアブル ジャンボ 400FG	バサグラン 粒剤・フロアブル 液剤(750g) エアード剤
アピロクロウ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 400FG	バトウZ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ
アピロクロウ 楽粒 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 400FG	フルバグーMX 1キロ粒剤・ジャンボ
サラブレードGO 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 400FG	ベッカク 1キロ粒剤 ジャンボ 250
アピロクロウ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 400FG	レオセーダ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 300FG

五十百類

除草剤散布後、
水田水[※]がなくなるまで
給水しない
止水管理を提案します

2025年度キャンペーン協賛会社

	石原産業株式会社
	エスケー・エスバイオテクノロジー株式会社
	科研製薬株式会社
	協友アグリ株式会社
	クミアイ化学工業株式会社
	CORTEVA agriscience
	syngenta
	住友化学
	日産化学株式会社
	NICHINO 日本農薬株式会社
	バイエル
	BASF
	北興化学工業株式会社
	三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

五十百類

詳細はHPへ! <https://japr.or.jp/josouzai-campaign2025/>

公益財団法人日本植物調節剤研究協会